



[山口・湯田温泉の
観光コース]

「長州ゆかりの
地をめぐろう!」

史跡 めぐり マップ



山口市は明治維新の策源地
「維新ゆかりの地をめぐろう!」

山口市は幕末の政変に大きく関わった明治維新の策源地。
まちめぐりの前に、まずは幕末の山口市豆知識を伝授!

その巻
木戸・西郷・坂本らが集結!

長州藩の木戸孝允、薩摩藩の西郷隆盛、そして坂本龍馬らが倒幕のために集結していた山口市。密議を重ねた場所や木戸孝允ゆかりの神社など関連スポットが点在!

その式
日本の近代化に貢献した偉人たち

長州藩は初代内閣総理大臣・伊藤博文や鉄道の父・井上勝ら、日本の近代化に貢献した長州五傑を輩出。山口市には長州五傑の一人、湯田温泉出身の井上馨や、新政府で近代兵制確立に努めた大村益次郎ゆかりの地がある。

その参
優秀な人材を引き上げた毛利敬親

幕末期に第13代長州藩主を務めた毛利敬親は、藩の財政を立て直し、有能な藩士を次々に引き上げた名君。明治維新の功労者であり、新政府設立後、いち早く版籍奉還に応じたことでも知られる。

参考にしな! モデルコースはこちら!
モデルコースの一例をご紹介します。
自分だけのオリジナルのコースも見つけてね!

木戸孝允をはじめ明治維新の志士ゆかりの地をピックアップ!

維新の志士コース

3 木戸神社 (自動車 3分)
7 杵流亭 (徒歩 すぐ)
9 十開亭 (自動車 4分)
4 普門寺 (自動車 3分)
8 露山堂 (自動車 4分)

長州五傑の一人、井上馨ゆかりの地をめぐってね!

長州五傑コース

10 周布正之助の碑 (自動車 2分)
11 井上馨遺孀住の碑 (自動車 4分)
6 洞春寺 (自動車 7分)
1 井上公園 (自動車 4分)
9 十開亭 (自動車 4分)

使え! レンタサイクル情報

ココでレンタサイクル!
湯田温泉観光案内所

営業 9:00~17:00
料 2時間以内400円~
延長料金は100円/1時間
(自転車搭乗保険料込)
(最大利用時間8時間)

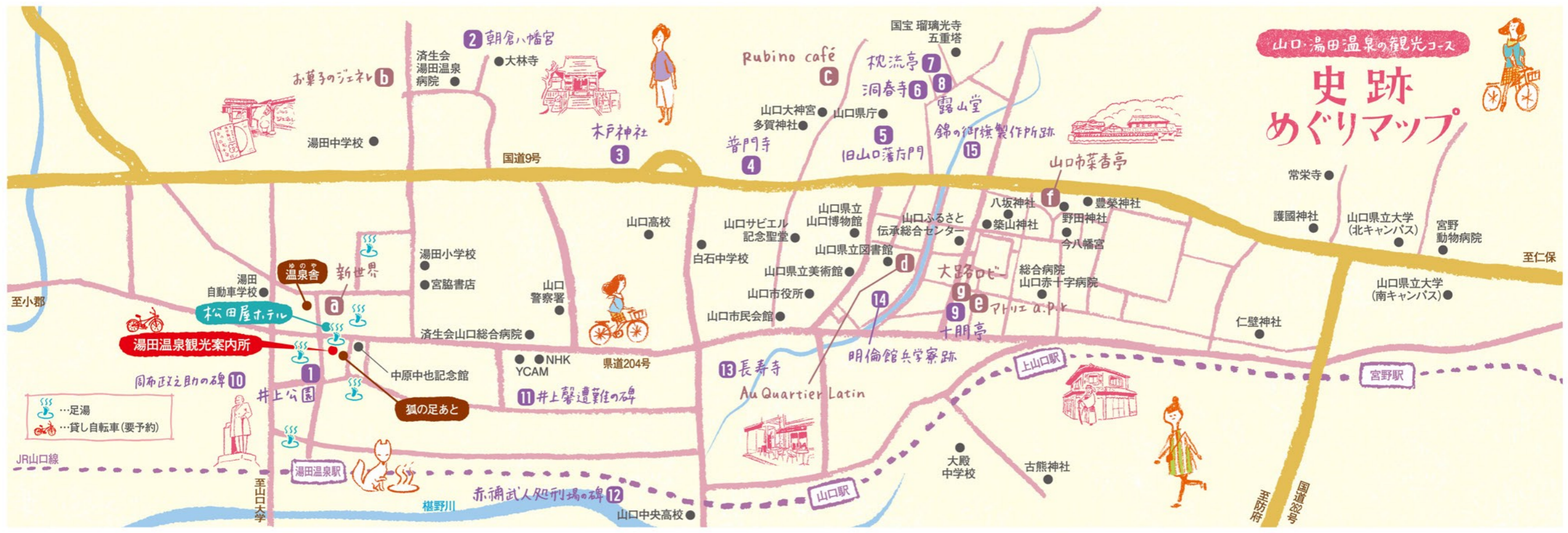
お子様用
自転車もあるよ!

※ご利用の際は、運転免許証などの本人確認ができる証明書をご提示ください。
お申し込み・お問い合わせ
tel.083-922-1811 (湯田温泉旅館案内所)

便利! 快適!! 観光タクシーもあるよ!

お申し込み、お問い合わせは
各タクシー会社へ!

発行元/ゆだもり
【お問い合わせ】083-922-0344 (湯田温泉配給協同組合内)
〒753-0056 山口県山口市湯田温泉5-2-20
湯田温泉旅館協同組合公式サイト www.yudaonsen.com
※掲載している情報は2018年3月20日現在のものです。



山口・湯田温泉の観光コース
史跡
めぐりマップ



1 井上公園

☎ 083-901-0150 (湯田温泉観光案内所) 所 山口市湯田温泉2-5

明治の元勳・井上馨の生家跡につくられた公園。井上馨の銅像をはじめ、三条実美ら7人の公卿を偲ぶ「七卿の碑」や詩人・中原中也の詩碑などがある。

何達亭 時 4~10月10:00~17:00、11~3月10:00~16:00 (休憩所) 休 水曜、お盆、年末年始



2 朝倉八幡宮

☎ 083-922-0178 所 山口市朝倉町3-14

宇佐八幡宮より勧請。幕末、都より落ち延び山口に滞在していた三条実美ら七卿が尊王攘夷を祈願して度々参拝していた。境内には県内最大級のイヌマキの木がある。

時 参拝自由



a 新世界

☎ twitterのDMにて受付 所 山口市湯田温泉3-7-7

平日限定の多目的スペース&バー。多彩なドリンクと手作りのチリコンカンがおすすめ。個展やギター教室、アコースティックライブなど不定期で開催。

時 19:00~不定 休 土・日曜



8 露山堂

☎ 083-934-2731 (山口市管財課) 所 山口市香山町1

毛利敬親が藩庁を山口に移鎮した際に今の県庁内の一露山の麓に建てた茶室で、家来らと倒幕の密議をした場所。明治24年に現在の位置に移築された。

時 見学自由(外観のみ)



9 十朋亭

☎ 083-934-2717 (山口市文化交流課) 所 山口市下笠小路112-1

毛利敬親が藩庁を山口に移鎮した際に役人の宿泊所として利用。木戸孝允や高杉晋作、伊藤博文ら多くの長州藩志士たちが出入りした。市の指定文化財。

時 10:00~17:00 休 火曜



d Au Quartier Latin

☎ 083-922-6400 所 山口市後河原160-1

東京のフランス料理店で腕を磨いたオーナーが営むフレンチカフェ。おすすめは常時約10種がそろった自家製ケーキ。中でもタルトがイチオン!

時 11:30~10:19:30、ランチ11:30~10:14:00 休 月曜、第3火曜 ※祝日の場合は18:00まで営業



3 木戸神社

☎ 083-922-0083 (今八幡宮社務所) 所 山口市糸米2-10-10

明治政府樹立に大きく貢献した木戸孝允(桂小五郎)が祭神。木戸の遺言どおり山口の木戸家の所有山林と邸宅は地元へ寄付され、感謝の心から創建された。

時 参拝自由



4 普門寺

☎ 083-922-4821 所 山口市白石3-4-1

幕末、日本の近代的軍制の創始者・大村益次郎が観音堂を宿舎とした。藩士らからの希望により、ここで兵学を教授。普門寺塾、三兵塾などと呼ばれていた。

時 参拝自由



b お菓子のジェネレ

☎ 083-932-0180 所 山口市錦町5-25

テイクアウトはもちろん、庭園を眺めながらのイトインもできる洋菓子店。山口県産の米粉と卵を使ったマドレーヌ「湯田狐福」はお土産にぴったり。

時 11:00~19:00 休 月曜



5 旧山口藩庁門

☎ 083-933-2210 (山口県庁管財課) 所 山口市滝町1-1 (山口県庁)

長州藩主・毛利敬親が萩から現在の県庁の位置に藩庁移転を計画し、明治3(1870)年に竣工。藩庁の正門で、山口県の有形文化財に指定。堀や土塁も現存する。

時 通用口開門 8:30~18:15



6 洞春寺

☎ 083-922-1028 所 山口市水の上町5-27

毛利元就の菩提寺。幕末期、井上馨率いる鴻城隊の本陣があったため、本堂内の柱には、井上が付けたとされる刀傷が多数ある。本堂の裏手には井上家墓所も。

時 参拝自由



c Rubino café

☎ 083-976-4777 所 山口市滝町5-2

築50年の古民家をリノベーションしたオシャレなカフェ。野菜をふんだんに使う週替わりのランチは男女問わず大人気(数に限りがあるため予約がおすすめ)。

時 11:00~17:30、ランチ11:30~数量限定、夜は5名以上の予約で営業 休 不定 facebookにてお知らせ



f 山口市菜香亭

☎ 083-934-3312 所 山口市天花1-2-7

明治10年の創業から平成8年までの約120年、山口の迎賓館であった料亭を移築。人気の着物体験、袴を着る幕末志士体験は、市内各所での撮影もOK。

時 9:00~17:00 休 火曜 料 大広間・展示室の観覧のみ 高校生以上100円、小中学生50円、未就学児無料

体験data

【着物体験】2時間未満2,800円、2時間以上3,600円

【幕末志士体験】2時間未満3,800円、2時間以上4,600円

着付時間 9:00~15:00 (火曜休み) ※前日の午前中までに要予約



9 大路口ビー

☎ 083-920-9220 所 山口市下笠小路115-3

萩往還に面した町家造りの観光案内所&無料休憩所。維新の志士の衣装を貸し出す「維新deコスプレ」が人気。好きなコスプレで史跡をめぐろう!

時 10:00~17:00 休 火曜 ※祝日の場合は翌平日

体験data

【維新deコスプレ】30分200円、2時間500円、1日(10:00~17:00)1,500円、1泊2日2,000円

体験時間 9:00~16:00 (火曜休み)

種類 久坂玄瑞(子ども用サイズあり)、高杉晋作、坂本龍馬



7 枕流亭

☎ 083-920-4111 (山口市文化財保護課) 所 山口市香山町1

明治維新の志士の集会所で、慶応3年には西郷隆盛や小松帯刀らが訪れ会見し、連合倒幕軍の結成を誓った。2、3度移築され、現在は香山公園内にある。

時 9:00~17:00



長州地サイダー

(夏みかん味・もも味)

山口県産の夏みかん果汁ともも果汁を使用したサイダー。吉田松陰と維新の志士たちのイラストがかわいい! 山口のお土産にぜひどうぞ。

問い合わせ 日本果実工業株式会社

【お客様相談室】tel.083-927-8030 (平日の9:00~12:00、13:00~17:00)



詩人・中原中也ゆかりの山

権現山

湯田温泉街の北東に位置する高さ約40mの山で、「白狐が傷を癒していた」という湯田温泉の白狐伝説の舞台。また、詩人・中原中也が少年時代に度々訪れていたことでも知られる。



一度は泊まりたい 維新の志士ゆかりの旅館

松田屋ホテル

☎ 083-922-0125 所 山口市湯田温泉3-6-7

明治維新の志士たちが集い、語り合った場所

創業340年を超える湯田温泉の老舗旅館で、明治維新の志士が集った場所としても知られる。会見が行われた場所や汗を流したお風呂、数々の貴重な資料が並ぶ「明治維新資料室」など見どころ満載! 美しい庭園も楽しんで。



料 1泊2食21,600円~

西郷・木戸・大久保会見所

高杉晋作憂国の櫛

維新の湯



西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允ら薩長同盟や倒幕について会談。

高杉晋作が所感を刻んだ貴重な歴史的遺物。松田屋の玄関横にあった櫛。

徳川幕府末期の1860年につくられたもの。維新の際に松田屋の志士が密議の際に入浴したという。